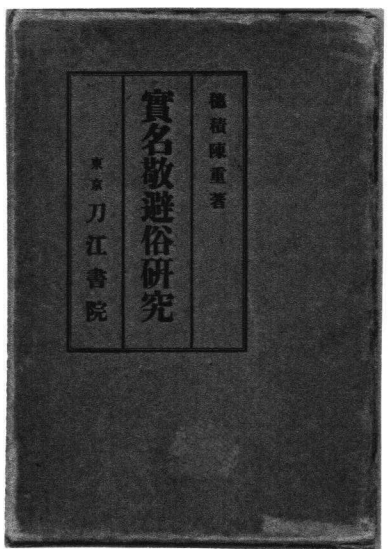


德積陳重 トシタカ 民法學者、法學博士。安政二年七月十一日伊豫國宇
 利島生れ、大正十五年四月七日歿（八五—一九三六）。舊名入江邑次郎。
 明治六年開成學校入學、九年歐洲留學、十五年東京大學教授、二十一
 年最初の法博、二十八年法典調査會主査委員として民法起艸に參與。
 のち貴族院議員、樞密顧問官、臨時法制審議會總裁、樞密院議長、帝
 國學士院院長等歴任。妻宇多（德積歌子）は流澤榮一の長女、德積重
 遠はその長男、德積八束は弟。

著書に、『徳居論』（明治二十四年十一月七日哲學書院「法理學叢書」）、
 『由井止雪事件と徳川幕府の養子法』（大正二年六月二十四日帝國學
 士院「帝國學士院第一部論文集・邦文第一號」）、『法窓夜話』（參
 版・大正五年六月十日自刊、有斐閣）、『講小關する疑』（大正八年
 三月二日帝國學士院「帝國學士院第一部論文集・邦文第貳號」、改題
 再刊『實名敬避俗研究』大正十五
 年六月二十日刀江書院）、『法律
 進化論』全二冊（第一冊、第一冊
 ・大正十二年七月十五日、第二冊
 ・昭和二年一月一日岩波書店）、



「法律進化論叢」全四冊（一）神

權説と『民約説』昭和二年一月十五日、一『祭祀及禮と法律』七月二十
 日、二『禮制と法律』四年六月五日、四『復讐と法律』六年二月十八

日岩波書店。復刊『復讐と法律』五十七年四月十

六日「岩波文庫」、『徳積陳重進講録』（徳積

重遠・徳積重威編、昭和四年十一月二十五日岩波



書店)、
『德積陳會遺文集』全四冊(德積重遠編、第一冊・昭和七年
四月五日、第二冊・十一月二十五日、第三冊・九年一月二十八日、第
四冊・九月二十日岩波書店)、
『續法窓夜話』(昭和十一年二月五日
岩波書店、復刊『続法窓夜話』五十五年二月十七日「岩波文庫」)等。